

厨房機器に通信機能が無い場合に使用する 中継器の開発

宮崎 一善 (みやざき かずよし) 東邦電子株式会社 営業部 担当部長

要約 厨房機器が一般社団法人日本エレクトロヒートセンター（以下、JEHC）の運営する共通プラットフォーム「インターネットオブキッチンプラットフォーム（以下、本プラットフォーム）」へデータを送信するには、厨房機器側にデータを送る仕組みを設ける必要があり、さらにその仕組みを利用してデータを集中管理装置に送る必要がある。本稿では様々な厨房機器から本プラットフォームへデータを送る仕組みを設ける際に使う中継器の役割と可能性について紹介する。

1. はじめに

厨房機器は多種多様である。本プラットフォームにデータを送るには厨房機器にデータ送信機能を備える必要がある。その機能を備える為には厨房機器への機能追加や設計変更作業を行う必要がある。中継器を使う事でその変更作業を最小限にし、本プラットフォームへの接続が容易となる。多くの厨房機器が本プラットフォームへ接続可能となる事で、データ利活用の幅が広がる事に期待している。

- ・電気的なコントロール装置を実装していない
- ・コントロール装置はあるが、通信機能がない
- ・通信機能はあるが、独自の通信仕様である
- ・新たにセンサを追加したいが、I/Fを持ち合わせていない

この様に様々な仕様である厨房機器のデータを、本プラットフォームに送る為の橋渡しを行うのが中継器である。(図1)

中継器は業務用厨房機器標準通信仕様に対応している。この装置を厨房機器に組み込んで使用する。(図2)

2. 中継器とは

厨房機器といっても多種多様で、データを送信する仕組みを備えない厨房機器も少なくない。

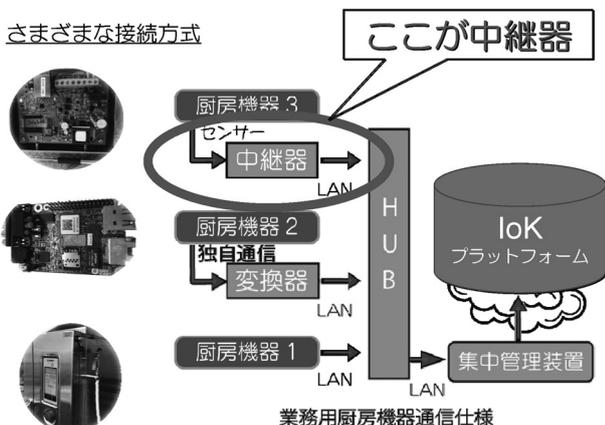


図1 中継器の使用イメージ

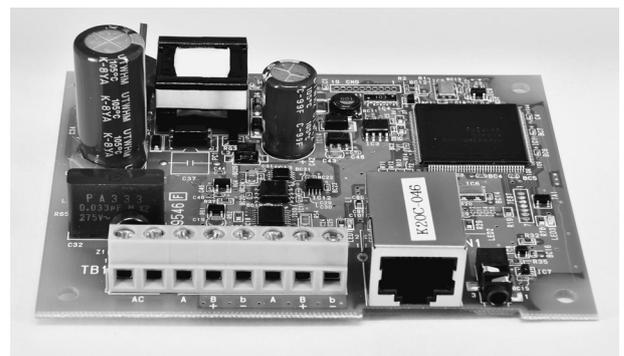


図2 中継器の外観

3. 中継器の仕様

中継器の仕様について紹介する。温度センサを持たない厨房機器の温度情報を、本プラットフォームに送信する事を想定した基板で、温度センサ入力2点、通信出力1点を備え、測定したい部分の温度を計測し、集中管理装置へデータを送る基板。中継器を厨房機器に組み込んで使用することで、本プラットフォームに